

2025 Hiroshima University
School of Dentistry

広島大学

歯学部

学部案内

口腔医療の
プロフェッショナルへ



広島大学



学 部 長 メッセージ

口腔から全身の健康を守る
プロフェッショナルの育成を目指して



歯学部長
柿本 直也

歯科医療界では高度な情報化が進んでいます。疾病や病態の診断にはゲノム診断が可能となり、診断機器においてはAI機能の搭載が普及しており、これらに対応できる歯科医療人が必要とされています。また、様々なコミュニケーションツールが普及し、生成AIによる対話型サービスも利用可能となっています。世の中が急速に変化する中で、広島大学歯学部は2023年に歯学教育認証評価で適合認定を受けました。広島大学歯学部の教育の中心であるバイオデンタル教育、多職種連携教育、国際化を含む歯学教育が世界基準の質に達していることを示しています。

広島大学歯学部では学生の海外留学を促進し、また海外からの留学生の受け入れを積極的に行っています。歯学科では、ほぼ全ての専門教育科目において日英両言語授業を実施し、海外からの留学生が日本の学生と同じ授業を受ける環境を整えています。これらの取り組みは口腔健康科学科にも広がっています。

一方、少子高齢化の世の中において、歯科医療も変化が起きている。う蝕罹患率は減少し、8020を超える口腔環境がよく見られる時代になりました。オーラルフレイルの概念も普及し、口腔の健康と全身の健康の関連が注目されています。広島大学歯学部では、歯科医療に関わる全職種（歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士）のプログラムを用意し、幅広い歯科医療を学ぶ環境を整えています。また、医療系キャンパスである広島大学霞キャンパスでは、歯科3職種を含む11の医療系職種が枠を超えて学ぶことで、専門領域のプロフェッショナリズム育成の機会が提供されています。

皆様にはこの素晴らしい環境で、未来の歯科医療を担うプロフェッショナルや、多職種と協調できる歯科医療界のリーダーとして、世界に羽ばたいてほしいと願っています。

理 念

1. 高度な医療技術と学識、豊かな人間性を備えた歯科医療人の育成
2. 国際的に活躍できる歯科医学分野の教育者・研究者の養成
3. 地域医療と歯科医学分野への貢献

口腔の専門医療人、そして人体を深く理解する「生命科学者」へ。

歯科疾患は、全身の健康に大きく影響するという近年の歯科医学をふまえて、歯を削り詰め物をする従来の歯科治療から脱却し、各分野の専門家チームによる患者中心の全人的歯科医療に対応できる人材育成を目指しています。歯学科では歯科医師、口腔健康科学科では、歯科衛生士及び歯科技工士、さらに教育・研究者となるために必要な教育を行っています。本学部が歯科医療に関わる全職種（歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士）の学士課程を有していることを活かし、学科・専攻を超えた教育を実施しています。さらに、医学部や薬学部との共通教育を実施し、将来のチーム医療への導入を図っています。



歯学科

1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
教養教育科目 医学部・歯学部・薬学部合同 早期体験実習				チャップ ターム 共用試験	共用 試験
	専門コア科目				
			各研究室に分かれて 個別に研究指導		
国際歯学コース 母国にて教養教育				臨床実習	国際歯学コース 母国にて臨床実習
国際歯学コース学生が本学の専門課程に合流し、日本人学生と学びます。					

注) 共用試験の実施時期については、変更の可能性があります

口腔健康科学科

1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目 医学部・歯学部・薬学部合同 早期体験実習			
	専門教育科目		
		臨床・臨床実習	卒業研究
			国家試験
			大学院進学 就職
	専門基礎科目		

バイオ デンティスト

生物学的基盤に基づいて、
口腔機能回復と維持を統合して
医療を展開できる歯科医師

オーラルヘルス マネージャー

すべての
ライフステージをととして、
口腔の健康管理が
行える歯科衛生士

オーラル エンジニア

工学的な
医療情報をベースに、
歯科医療をデザイン
できる歯科技工士

歯 学部教育3つの柱



Biodental Education：バイオデンタル教育

歯学科と口腔健康科学科における教育の共通基盤となるのが「バイオデンティストリー」です。バイオデンティストリーとは、バイオロジー（生物学）とデンティストリー（歯科医学）を掛け合わせた、広島大学歯学部オリジナルの造語で、「生物学に基づく歯科医学」という意味です。

歯科医療では、う蝕や歯周病を治療するだけでなく、患者の全身状態についても判断する必要があります。全身疾患と歯科疾患は、とても密接な関連があります。

生体で生じている現象をマクロの視点で眺めるだけでなく、細胞・分子・遺伝子レベルの動態とリンクさせて初めて詳細なメカニズムや、異常が生じた際に引き起こされる様々な病気の原因が理解できるようになります。バイオデンタル教育は、多様な研究を通じて基礎医学と臨床歯科医学をリンクさせた教育です。

Interprofessional Education (IPE)：多職種連携教育について

皆さんが学ぶ広島大学の霞キャンパスには、医学部・歯学部・薬学部があります。ここでは全国でも例を見ない医療関連職種11職種(医学部 医師・看護師・理学療法士・作業療法士・養護教諭・保健師・助産師、歯学部 歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士・養護教諭、薬学部 薬剤師)の学士課程教育を行なっています。平成22年より文部科学省の予算を受けて多職種連携教育をスタートさせました。1年次IPEでは医療倫理や大規模災害時医療の際などのトリアージなどを学び、医学科・歯学科の5年生、保健学科の4年生、口腔健康科学科の3年生、薬学科の6年生はロールプレイなどで慢性疾患医療や介護医療について学びます。それぞれの医療職種のプロフェッショナリズムやスペシャリティをあらためて学ぶことのできる特徴的な教育です。

International Education：国際化

歯学部では、国際的に活躍できる歯科医療人の育成を教育目標に掲げ、国際交流を活性化するとともに、交流の枠を学部学生にも拡大することを目的とし、国際歯学コースを開設しました。現在歯学科ではほぼすべての科目で、口腔健康科学科では一部の科目で日本語・英語併用授業が行われています。東南アジアの国際交流協定校から選抜された留学生が2年生から5年生の間、学部生とともに履修することが可能となりました。クラスに優秀で意欲的な留学生が編入し、同じ科目を共に学ぶことにより相互理解も進み、国際感覚が養われています。

広島大学歯学部の協定校は、ヨーロッパ、米国を中心とした歯科先進国、アジア諸国で発展途上の国々などに存在し、学部学生の相互留学を積極的に推進しており、海外へ短期留学する学部学生も年々増加しています。

海外の歯学部学生が4年間、広島で広島大学歯学部学生と歯学専門科目を学ぶプログラムです。

広島大学歯学部は、2011年度より、本学と国際交流協定を結んでいるアジアの歯学部から特別聴講学生を迎えて国際歯学コースを開始しました。海外からの特別聴講学生は、半年間の日本語研修・基礎教育ののち2年生前期から広島大学歯学部の日本人学生とともに3年6か月の間、専門教育を受けます。日本人学生にとっても海外の優秀な学生と共に学び、遊び、意見を交わす時間を過ごすことは、お互いの国際感覚やグローバル化対応能力の醸成に大変有意義です。このプログラムをとおして、広島大学歯学部はアジアにおける将来の指導的人材への基盤形成を目指します。歯学科の専門科目はほぼすべて日本語・英語併用授業で行っています。

国際歯学 コース

歯学部 歯学科／口腔健康科学科 口腔保健学専攻／口腔健康科学科 口腔工学専攻



歯学科

歯学科では、歯科医学や歯科医療分野のリーダーとなる臨床歯科医、教育者・研究者の育成を目指します。1年次から歯学専門教育の科目履修を開始し、5年次からは臨床実習が始まります。4年次前期から研究教育が始まり、生命科学への興味と理解を育みます。5年次前期には、ギャップタムを設け、留学や研究などに活用できます。全国唯一の国際歯学コースを設置し、多くの留学生を受け入れ、留学生と共に学ぶ国際的に開かれた教育環境を実現しています。

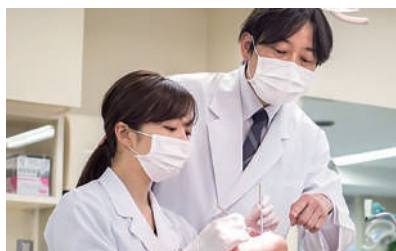
口腔健康科学科 口腔保健学専攻

口腔保健学専攻は、4年制の歯科衛生士養成機関で、養護教諭一種免許状も取得可能です。教養教育で医療人としての基盤をつくり、多職種連携教育や歯学部合同授業を通じて幅広い専門知識を修得します。3年次後期から広島大学病院や学外実習施設での臨床・臨床実習が行われます。在学中は海外研修の機会も多く設けられています。卒業後は、全国各地の病院や診療所での勤務の他、企業や行政で活躍しています。また、大学院へ進学する卒業生も数多くいます。その他、口腔保健分野の教員や養護教諭、研究者など、卒業後の進路は様々です。

口腔健康科学科 口腔工学専攻

口腔工学専攻は、日本で初めて設置された4年制の歯科技工士養成機関です。バイオロジー、テクノロジー、高度なスキルを盛り込んだ幅広い教育を行っています。また、かつさけいご氏による「フェイシャルセラピスト養成講座」や日本組織培養学会の「細胞培養実習」などの全国的にも例を見ない実習も行っています。「オンリーワン」から「ナンバーワン」を目指して、医療マインドのある研究者・企業人と研究マインドに満ち溢れた歯科医療人を育成します。

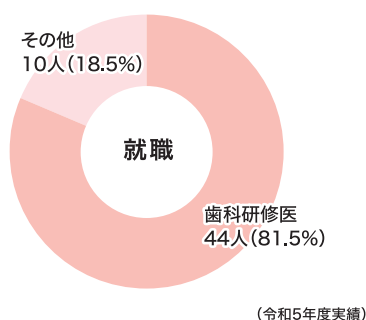
歯学科



国家試験合格後、1年間の卒後臨床研修を経て初めて臨床歯科医になることができます。その後は大学院に進学、臨床医として歯科医療機関での診療従事に分かれますが、将来は、大学など研究機関等の研究者や教育者、あるいは大学病院など医療機関での専門性のある歯科医師、または地域の開業歯科医や勤務歯科医、さらには行政機関の歯科領域の行政官など歯科医師を活かした多彩な職種へと道が開かれています。

取得可能免許・資格

- 歯科医師国家試験受験資格



口腔健康科学科 口腔保健学 専攻

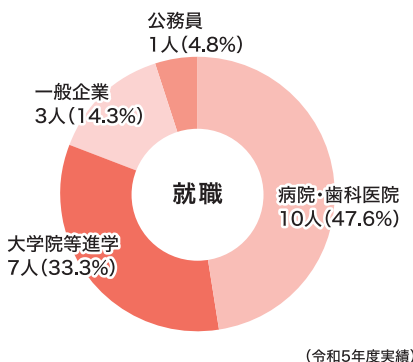


口腔保健学の主な進路(これまでの実績) ～歯科衛生士・養護教諭など色々な分野で活躍しています～

- 大学・医療機関 (広島大学病院、九州大学病院、岡山大学病院、兵庫医科大学病院、関西医科大学総合医療センター、県立広島病院、広島市立病院機構、広島赤十字・原爆病院、呉共済病院など)
- 大学教員 (広島大学、明海大学、常盤短大など)
- 企業 (サンスター、ライオン、モリタ、ジーシー、松風、JMS、アース製薬、花王など)
- 公務員 (広島県、広島市、呉市、千代田区、千葉市、兵庫県、岡山市など)
- 養護教諭 (広島県、福井県、愛媛県、長崎県など)

取得可能免許・資格

- 歯科衛生士国家試験受験資格、養護教諭一種免許状



口腔健康科学科 口腔工学 専攻

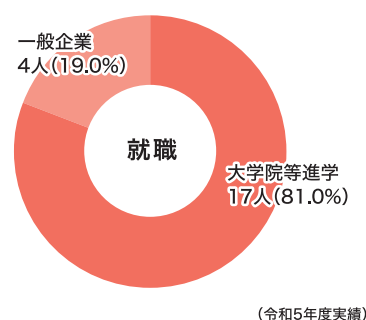


口腔工学の多岐にわたる進路 (これまでの実績)

- 製薬関連企業 (塩野義製薬、アステラス製薬、エーザイ、メニコン、中外製薬など)
- IT関連企業 (日立メディカルコンピュータ、富士通システムズ、ウエストなど)
- 食品関連企業 (UHA味覚糖、四国乳業、万田酵素)
- 歯科関連企業 (ジーシー、モリタ、ヨシダ、メディア、アライン・テクノロジー・ジャパン・トリート、富士フイルム医療ソリューションズ、松風など)
- 国公立病院・大学など (北海道大学、東京医科歯科大学、徳島大学、長崎大学など)
- 公務員 (法務省、国税局、広島県警、徳島県警、東広島市、福山市など)
- その他 (歯科医療振興財団、広島銀行、もみじ銀行、愛媛銀行、鳥取銀行、山口フィナンシャルグループなど)

取得可能免許・資格

- 歯科技工士国家試験受験資格、フェイシャルセラピスト資格認定、細胞工学士資格認定



Voices from OB&OG



広島大学での学びが私の成長の原点

在学中には先生方の応援を受けながら、学生団体の立ち上げを行いました。卒後は口腔外科研修、医療者向けデータサイエンス大学院を経て、現在に至ります。歯科臨床業務の一方で、医療メディア会社で若手医療者向けプロジェクト立案業務に携わっています。広島大学の英語併用授業で得た知識を活用し、米国歯科医師国家試験(INBDE)にも合格しました。今後は、国内外の社会課題解決に携わっていきたいと考えております。広島大学の教育と環境が現在に至るまでの原動力となっています。皆さんもぜひ広島大学での学びを検討してみてください。

歯科医師、ヘルスケア事業コンサルタント 堀元 惲緒里さん(令和2年3月 歯学科卒業)



地域の健康づくりに取り組んでいます

私は卒業後呉市に就職し、現在保健センターで歯科衛生士として、生まれる前の赤ちゃんから大人までの幅広い世代を対象に、個別相談や集団支援等の業務を行っています。また、多職種と関わりながら地域住民の健康づくりにも携わっています。学生時代に学んだ様々な分野の知識や技術、経験が現在の仕事にとても役立っています。歯科衛生士の活躍が期待される中、広島大学での学びは様々な働き方の選択肢を増やしてくれると思います。皆さんも是非広島大学での学びを検討してみてください。

呉市保健所地域保健課西保健センター 角田 萌乃さん(令和5年3月 口腔健康科学科 口腔保健学専攻卒業)



私は広島大学 歯学部 口腔保健学科 口腔工学専攻(現:口腔健康科学科 口腔工学専攻)の第一期生として入学し、第二期として(笑)卒業致しました。

卒業後は、自身の人間力を活かせる場だと感じた小林製薬のメディカル事業部(医療機器部門)に入社し、事業部ごと分社、三菱商事への株式譲渡を経て、現在は北米三菱商事に所属し、米国シリコンバレー(カリフォルニア州北部)にて、事業開発及び米国の最先端医療機器、デジタルヘルスソリューションの日本への導入に従事しております。

口腔工学専攻は、医療に纏わる幅広い知識に加え、臨床実習、基礎研究等、多くを学ぶ機会があります。私が住むシリコンバレーの有名投資家の著書のタイトルに「What you do is who you are」というものがありますが、正しく、社会に出ればこれまでの経験が個人の能力・価値として評価されます。そして、社会では何年経っても大学で何を学んだか、経験したかが問われます。口腔工学専攻は誰もが簡単に得ることのできない、医療に関する貴重な機会・経験が多く詰まった宝宝箱です。大学生活は勉強、部活、プライベート全てに忙しく、全てが財産となります。受験生の皆様は、未来に向かって希望と不安で胸が一ぱだと思えます。輝かしい未来への第一歩として、大学選びは非常に重要なイベントだと思いますが、皆様の口腔工学専攻での全ての経験が、人生に於ける大きな財産となることは間違いありません。

北米三菱商事 岩田 慧さん(平成21年3月 歯学部 口腔保健学科卒業)

在学生からのメッセージ



歯学科

医療現場で働く自覚と覚悟

歯学科では、2年次と4年次に病院で患者さんへの接し方などを学ぶ早期臨床体験実習があります。入学後の早い段階で医療の現場を体験することで、臨床を意識しながら授業に臨むことができ、将来医療人として働く自覚と覚悟を強く促されました。普段の日英両言語の授業では、4年間アジアの留学生と共に学ぶ機会により、専門英語も上達し、活躍の場を世界に広げる選択肢も増えます。

また、歯学部においては部活動も盛んであり、折に触れ先輩方から受けるアドバイスは自分の人生で大きな指針となります。卒業後は広島大学で学んだ経験を活かし、患者さんに寄り添える歯科医師になりたいと思います。

歯学科5年 井上 かれんさん(滋賀県 滋賀県立膳所高等学校)



口腔保健学専攻

歯科衛生における充実した学びの環境

広島大学では他学部との医療における多職種連携、さらに歯学科・口腔工学専攻の学生と共に学習する機会もありより高度な歯科医療知識を得られるため、日本一の歯科衛生士を目指せる、そんな恵まれた環境だと感じます。その他、カンボジア歯科医療支援活動など海外での研修の機会もあります。卒業後の進路としては歯科衛生士のみならず、養護教諭や大学院進学、企業などと幅広い選択肢があり、入学後も将来について多角的に考えることができます。私はこの専攻に入学したことで尊敬する先生方と出会うことができ、助け合える仲間と共にこれからも勉学に励んでいきたいと思っています。

口腔健康科学科 口腔保健学専攻3年 吉田 早希さん(広島県 山陽女学園高等部)



口腔工学専攻

歯科技工を軸に広がる選択肢

口腔工学専攻では、歯科技工分野を中心に日々様々なことを学んでいます。実習の機会も多く、先生方にご指導いただきながら歯科技工物やエピーテーゼを自らの手で作り上げます。歯学科、口腔保健学専攻の学生との合同講義も多々あり、より専門的な歯科知識からチーム医療の基礎まで、歯科技工を超えた学びを享受できるのも広島大学ならではの魅力のひとつです。このように本専攻では自分の興味関心に基づいて学びを追求できるため、卒業後も様々な分野で活躍することができます。

口腔健康科学科 口腔工学専攻3年 向井 周音さん(広島県 広島大学附属福山高等学校)



国際歯学コース

特別な大学である広島大学

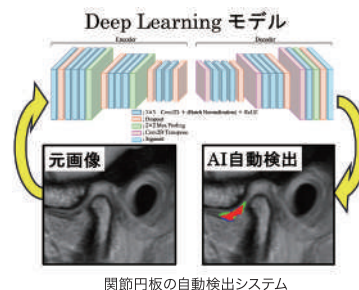
私は奨学金のおかげで広島大学へ留学することができました。歯学部国際歯学コースの4年生として、私は4か国の仲間達と、文化を共有しながら仲良く、共に学んでいます。毎日、理論の授業と実験実習があり、教室で学んだ知識を応用することができます。現在、私は細胞分子薬理学研究室に所属し、脳疾患の研究をしています。有意義な研究、楽しい経験、そして一生の思い出作りができる広島大学は特別です。この大学には、素晴らしい教授、親身になってくれる職員、世界中からの学生など、多様な背景を持つ人々が集まり、皆が学びへの情熱によって一体となっています。

国際歯学コース 4年 SONG VYRYKA(ソング ビリカ)さん(カンボジア University of Health Sciences)

NEWS

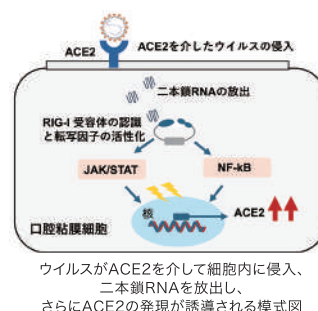
人工知能(AI)技術を用いた診療補助システムの開発

本学歯科矯正学研究室の谷本幸太郎教授と伊藤翔太助教らの研究グループは医療システム工学研究室と共同で、Deep LearningをはじめとしたAI技術を用いて、レントゲンやMRIなどの医療画像から特定の構造物を自動検出するシステムや骨格的不正の有無を自動判定するシステムの開発を行っています。本研究結果により、同研究グループは日本矯正歯科学会学術大会にて優秀演題賞を2題(第80・81回)、日本デジタル歯科学会学術大会にて優秀発表賞を3題(第13・14回)、日本歯科技工学会から第82回学術大会にて企業賞を1題受賞しました。AI技術による自動診断システムや診療補助システムの開発は、医療現場を取り巻く大きな課題である医療従事者の負担軽減や医療の効率化に対する解決策として注目を集めており、今後大きな発展が期待されています。



口腔粘膜細胞における新型コロナウイルス受容体の発現とその発現誘導機構

新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)は飛沫感染するため、口腔は重要な感染経路となります。本学公衆口腔保健学研究室の太田耕司教授と、同口腔外科学研究室の相川友直教授らの研究グループは口腔粘膜の細胞がSARS-CoV-2のスパイク蛋白と結合するACE2受容体を発現していること、また細胞内に導入した疑似ウイルスRNAが細胞内のRIG-I受容体を介して転写因子を活性化し、ACE2の発現がさらに誘導されるメカニズムを明らかにしました。その研究成果は国際誌「Oral Diseases」誌に掲載されました。

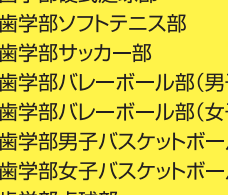


EVENT CALENDAR

学習・研究に全力で挑む！
キャンパスライフだって楽しく過ごしたい！
学生たちは課外でも充実した時間を過ごしています。



Campus Life

4月 April	- 入学式 - 前期(第1ターム)授業開始 - オリエンテーション行事			- 創立記念日(5日) - 霞祭 - 広島大学 光り輝き入試 総合型選抜 - 後期(第3ターム) 期末試験	11月 November
6月 June	- 前期(第1ターム) 期末試験 - 前期(第2ターム) 授業開始			- 後期(第4ターム) 授業開始 - 冬季休業(1月上旬まで) - 全日本歯科学学生 総合体育大会 (冬季部門)	12月 December
7月 July	前期(第2ターム) 期末試験			- 後期(第4ターム) 期末試験 - 春季休業(4月上旬まで) - 一般選抜(前期日程)	2月 February
8月 August	- 夏季休業 (9月下旬まで) - 全日本歯科学学生 総合体育大会 (夏季部門) - オープンキャンパス			- 一般選抜(後期日程) - 学位記授与式(卒業式) - 全日本歯科学学生 総合体育大会 (冬季部門)	3月 March
10月 October	後期(第3ターム) 授業開始				



霞弓道部



バレーボール部



硬式庭球部



霞上田宗箇流茶道部

体育会系 CLUB

- 歯学部準硬式野球部
- 歯学部硬式庭球部
- 歯学部ソフトテニス部
- 歯学部サッカー部
- 歯学部バレーボール部(男子部)
- 歯学部バレーボール部(女子部)
- 歯学部男子バスケットボール部
- 歯学部女子バスケットボール部
- 歯学部卓球部
- 歯学部剣道部
- 歯学部霞陸上競技部
- 霞弓道部
- 霞水泳部
- 医歯薬ラグビー部 (ラグース)など

文化系

- 霞上田宗箇流茶道部
- ハイパーテクノロジークラブ(ハイテック)
- バイオテクノロジークラブ(バイテック)
- HUDIC(歯学部国際交流部)
- アートテック(Art Technique)
- 歯学部霞写真部
- 霞JAZZ研究会 など



霞水泳部



剣道部



準硬式野球部



ハイテック



アートテック



バイテック



バスケットボール部



ソフトテニス部



霞陸上競技部